

図書館だより

LIBRARY INFORMATION

ゆっくり本を楽しむ

9月 図書館カレンダー

2025 年 September						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

■休館日

月曜日（祝日の場合はその翌日）

図書整理日

◎お話し会

工作「うさぎを折ろう」

9月13日 土

午前10時30分から

★ 上半期貸出ランキングベスト10 ★

まだまだ暑い日々が続いていますが、今年も早いもので3分の2が過ぎ、読書の秋が近づいてきました。今月は、上半期に人気を集めた図書のランキングを発表します。

順位	図書名	著者名	出版社	回数
1	小鳥とリムジン	小川糸	ポプラ社	23回
2	架空犯	東野圭吾	幻冬舎	22回
3	クスノキの女神	東野圭吾	実業之日本社	21回
4	謎の香りはパン屋から	土屋うさぎ	宝島社	17回
5	皇后は闘うことにした	林真理子	文藝春秋	16回
	人生が楽しくなる「シニア推し活」のすすめ	和田秀樹	KADOKAWA	16回
7	パンどろぼうとりんごかめん	柴田ケイコ	KADOKAWA	15回
	さよなら校長先生	瀧羽麻子	PHP 研究所	15回
	老いてもヒグチ。	樋口恵子	清流出版	15回
	宙わたる教室	伊与原新	文藝春秋	15回

第1位に輝いたのは小川糸の「小鳥とリムジン」。家族に恵まれず、心に傷を負った18歳の少女が人々との出会いにより心と体を取り戻していく物語です。

第2位、第3位を独占したのは東野圭吾。新作が発表されるたびに注目を集めるランキングの常連です。

第4位は、「第23回このミステリーがすごい！」の大賞作「謎の香りはパン屋から」。パン屋を舞台に日常のミステリーが描かれる連作短編集です。

第7位は直木賞作家・伊与原新の「宙わたる教室」。2023年の発売ですが、昨年NHKでドラマ化され、再び注目を集めました。

図書館ボランティアのご案内

- 毎月第2土曜日に「石のスープの会」によるお話し会を開催しています。
- 「つくしんぼ」は、児童クラブ・保育所などへ読み聞かせを行っています。
- 図書整理「ひばりの会」、本を通して交流を深める「読書会」も活発に活動しています。

ホームページには利用案内や図書検索など図書館の情報を掲載しています▶



文芸ひろば

投稿作品

千代田俳句同好会	炎天や点滴しずく乱れ無し	今井守
炎天下退屈さうな遊具かな	大西周	
暦等関係なしの暑さかな	加藤貞江	
老いの身にみじろぎならぬ猛暑かな	北原千恵子	
貴婦人のようなドレス黒揚羽	神原清志	
夏服のあれやこれやと取り出せり	桜井愛子	
紫陽花俳句会	久保庭悦子	
すさまじき雷雨交わして生ビール	島田和子	
炎天や行き場失ひノロ蚯蚓	原田佳世子	
炎天に我庭先は鉄板焼き	藤本管生	
塩揉みしきゅうり一本丸かじり	華師寺玲子	
出島短歌会	鈴木隆夫	
久々の友の電話に語らえば行きつ戻りつ迷路に入りぬ	仲谷香代子	
道端の名も知らぬ草群がりぬ刈り取られても生命戻りて	名倉観子	
風に沿い夕顔一輪咲き初めぬ母八度目の月忌の夕べ	石塚清	
湯上がりに初秋の風を身に受けて今日も一日何事もなく	飯島すみ子	
投稿作品	関和代	
アラートで酷暑知らず地面まで庭の松の木黙って耐えて	沽野はつ子	
雷去りて静けさもどる夜の沈黙ひときわ高く牛蛙なく	矢口哲雄	
早朝に空澄みわたる散歩道広がる田園響く鳥の声	兼西清治	
幾年月吾子の帰りを血の叫び届かぬ国の心は悲し	高野新一	
登り来て仰ぐ青空うつき花ふと唄いおり「夏は来ぬ」	竹村啓子	
仏壇で亡き妻の顔我を見る酸素吸入いつまで続く	中村耕二	
ジャカラングの映ゆる街行く薄暑かな		
よしず立て暑さしのぎのエコライフ		
もの言はぬ二人弾けるソーダ水		
後光差す陰徳の山盆供養		

WEBで投稿
できます



投稿作品（俳句・短歌・川柳）を募集します。9月4日（日）までに情報広報課（〒300-0192 大和田562）へお願いします。
※応募多数の場合は掲載されない場合があります。また、【電話番号】【漢字にはふりがな】の記載をお願いします。



下稲吉 「厄除大明神」祭礼

市民学芸員 谷川峯子

昔は、その地域に住む人々の素朴で漠然とした信仰の対象となる神社があり、祭礼が行われていました。しかし、今はほとんどの所がすっかり寂れてしまっているように見受けられます。

厄除大明神の祭礼は、下稲吉の南のはずれ、上稲吉との境（市民窓口センターから北西に数百メートルの地点）で、毎年旧暦5月12日に行われます。神輿が出ることもなく、祭囃子が奏されることもありませんが、素朴で親和の情が感じられる祭礼といった趣があります。いつ頃から続けられてきた祭礼なのかは不明ですが、20～30年前頃まで、この場所は木々に鬱蒼と囲まれ、近くに住んでいても神社とは気が付かないような場所でした。木々が伐られた今では100坪ほどの境内が明るくなりました。境内の入口には花崗岩製の神明鳥居があり、その奥に朱色の四脚鳥居があつて間近に祠がありま

す。祠は立派な覆屋^{おおいや}で保護され、大切に奉祀されていることが分かります。少し前までは、祭礼日に関わりなく「奉納厄除大明神」という朱色の幟^{のぼり}が立てられていました。神社の管理は、以前は下稲吉の自治会が行っていたようですが、いつの頃からか「厄神様保存の会」が結成され、後継者が絶えないように工夫がされています。

先般の祭礼で、参加者の方から「子供の頃『この祭礼でいただいた赤飯を食べると疫病にかからない』と親から教えられた」と聞きました。神社を管理する方によると祭神は不明とのことでしたが、このお話から、厄除大明神の祭神は牛頭天王なのではないかとも考えられます。

厄除大明神の祭礼は、華やかさはなくとも地域の安泰を願う大切な神事です。担い手不足によって地域の祭礼が減少している中で、保存会を立ち上げ伝統文化として祭礼を継承している皆さまに感心し、応援したい気持ちになりました。一人でも多くの方にこの「厄除大明神」のことを知っていただければ幸いです。



厄除大明神

☎ 歴史博物館 ☎ 029-896-0017

人生の先輩

健康の秘訣をお聞きしました

～地域の憩いの場～

いってみっかサロンが15周年を迎えました



今年で15周年を迎えた「いってみっかサロン」。記念式典では、みんなで昼食をとり、午後からは千代田舞踏連合会などの演舞を楽しみました。演舞では、健康体操をとりいれ、みんなで自然と体を動かす要素も盛り込んでいました。演じる方も見る方も、サロンでは笑顔が絶えません。適度な運動、仲間との会話は笑顔を生み、みんなで過ごす和やかな時間が、健康の秘訣となっているようです。

「人生の先輩」への掲載を募集しています。

対象▶市内在住の65歳以上の方

応募▶情報広報課までお電話にてご連絡ください。

右記の二次元コードからのご応募も可能です。

掲載人数を超えた場合は抽選となり、もれた場合は翌月以降に再抽選します。



☎ 情報広報課（霞ヶ浦庁舎）
☎ 029-897-1111

▲詳細